

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和4年3月 29日

事業所名 放課後等デイサービスフルール

保護者等数(児童数)20 回収数18 割合 90%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	2				
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	17			1		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	2		6	・うちの子に関係がなかった ので注意してみませんでした。	フルフラット化に加え、今年度は床材をクッション性のあるものに取り替える対応を行いました。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	18					
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	18				・利用開始から5年目になります が、常に子供たちが楽しみながら 成長できるプログラムを考え てくださり大満足です。	今後も様々な活動を企画して いきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	3	2	11	・コロナ渦中なので減ることは 仕方ないと思います。 ・個人的に放デイに障害のない 子との交流を求めています。 ・コロナのせい	コロナ渦の感染対策の一環として 今年度の実施は見送りました。 例年は年2回の筑紫女学園の 交流会、音楽レッスンを通して 他事業所との交流などを行って います。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18					
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	1				
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	8	7	・コロナ渦なので減ることは 仕方ないと思います。 ・コロナのせい ・プライバシーの観点からも 保護者同士の連携を求 めておりません。	現状として、保護者同士の連 携支援は必要ないとお声 を複数いただいているため、 実施の予定はありません。 ご要望が出た場合には選択制 での実施を検討してまいり ます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	2		4		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18					
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	18					
	14 個人情報に十分注意しているか	17			1		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	18					
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17		1			
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	16			2	・いつも笑顔で帰宅して います。	今後も楽しんでいただけるよ うなプログラムを企画し、支 援してまいります。
	18 事業所の支援に満足しているか	18				・いつもあたたかく支援下さ りありがとうございます。今 後ともよろしく願っています。 ・とても満足しています。 ・子供だけでなく、親に対 する支援もいただき、感謝、 大満足しております。	全体を通し、ありがたいお言 葉をいただき感謝しており ます。今後もお子様、保護者 さまにとって安心安全に通所 できる場であるよう、創意工 夫しながら支援してまいり ます。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。